



今年度は「福祉バス 夢ちゃん号」

● 地域住民の足を運賃無料で確保 ●

木川・三津屋・加島地域の要望実る！



区役所幹部に要望する中村会長（木川） 泉水会長（三津屋） 越智副会長（加島）と杉田市議



4月1日から「福祉バス 夢ちゃん号」が十三市民病院や淀川区役所と阪急十三駅、JR加島駅の間を結ぶ区民の足として走り始めました。これまでの乗合タクシーに変わるものです。

平成25年3月の赤バス事業の廃止を受け、乗合タクシーが運行されていましたが、26年3月末で打ち切りが決まっていました。このため、木川・三津屋・加島地域の代表と杉田忠裕市議がこの1月、淀川区役所に運行継続の要望書を提出していました。

運行期間は土、日、祝日と年末年始を除く27年3月31日までの1年間で、運賃は無料です。第1便は十三駅東口を午前8時36分に出発、以後約70分間隔で午前中に3便、午後から4便の計7便運行します。

利用できるのは①満70歳以上の方②障害者手帳などで市営交通の利用割引を受けられる方③妊産婦の方④乳幼児（満4歳未満）を連れた保護者⑤同乗する介助者（1人のみ）となっています。



榎木橋の歩道に安全柵設置

● 車道の舗装改修も完成 ●

淀川区十八条と吹田市江の木町を結ぶ榎木橋の歩道に車道への転落を防ぐ安全柵がこのほど取り付けられました。車道の舗装改修も同時に完成し、加治木一彦府議と杉田忠裕市議、三浦寿子府議（吹田市選出）と井上真佐美吹田市議が地域の人たちと現地を視察しました。

もとは加治木府議のところに寄せられた「歩道上ですれ違う際、車道側だと危ないと感じる」との声が始まりでした。橋を管理する府茨木土木事務所に改善の要望を伝え、管理費用を折半している大阪市に対しては杉田市議が働きかけていました。

十八条にスーパーマーケットができたため、橋を通行する歩行者や自転車も増えているそうで、「安全柵ができてよかったです」との声をいただいています。



背のばしベンチを設置



設置を喜ぶ地域のみなさん



北中島公園の北西部に健康遊具の背伸ばしベンチが1基据え付けられ、杉田忠裕市議と加治木一彦府議がこのほど現地を訪れ、地域の人たちと写真に納まりました。

平成25年6月、同公園に高齢者が使える遊具を置いてほしい、との要望が杉田市議に寄せられました。公園を管理する市十三公園事務所に伝え、今年2月末、背伸ばしベンチを設置するとの回答がありました。

集まった人たちは「健康づくりのため、大いに使わせてもらいます」と喜んでおられました。



新高1丁目15、16の間を東西に走る市道にこのほど街灯が2基新たに設置されました。

工場が立ち退いた跡地に高齢者向け施設とマンションが建ったため、夜間も人通りが増えています。このため、地域住民から街灯をつけてほしいとの声が杉田忠裕市議に寄せられていました。



新高1丁目に街灯新設



区内有権者比で1%突破

党員・支持者の拡大の取り組みに感謝！

3月度
公明新聞購読率



執念の対話で購読率1%を突破し喜ぶ淀川支部のみなさん

淀川区内で配られる3月度の公明新聞の部数が1617部となり、淀川区の有権者（14万1814人＝3月2日現在）比で1・14%を記録しました。党員・支持者の皆様による購読推進の取り組みに心より感謝申し上げます。

今年11月の結党50周年を前に「有権者が増え続けている淀川区でも購読率1%を達成したい」と1月の党支部会の際に目標を立てました。この結果、約1カ月間で390部を上乗せし、1%を越す結果を残せました。

写真は3月19日の党支部会の時に撮影したもので、4月1日付の公明新聞に掲載されたものです。